

UPZ圏から避難先施設までの主な経路（宮津市）

➤ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、予め複数の経路及び避難先を設定。

府内避難先(西方向):

- 福知山市**
(三和中学校、他19か所)
- 京丹後市**
(弥栄社会体育館、他23か所)
- 与謝野町**
(与謝小学校体育館、他12か所)

府外避難先:

- 明石市**
(県立明石西高等学校、他46か所)
- 加古川市**
(尾上公民館、他50か所)
- 高砂市**
(総合運動公園、他13か所)



みやづ
宮津市

野田川わーくぱる

府内避難時の主な経路

【西方向】
国道178号⇒府道2号⇒国道176号

【南方向】
国道178号⇒宮津天橋立IC⇒宮津与謝道路⇒綾部JCT⇒舞鶴若狭自動車道⇒福知山IC⇒国道9号⇒丹波IC⇒京都縦貫自動車道⇒大山崎JCT⇒京滋バイパス⇒久護山JCT⇒京都南道路⇒八幡東IC⇒府道22号⇒京奈和自動車道⇒山田川IC⇒国道163号

府内避難先(南方向):

- 長岡京市**
(乙訓高等学校、他18か所)
- 八幡市**
(八幡市民体育館、他3か所)
- 京田辺市**
(常盤苑、他10か所)
- 木津川市**
(山城小学校、他15か所)

府外避難時の主な経路

国道176号⇒与謝野天橋立IC⇒宮津与謝道路⇒綾部JCT⇒舞鶴若狭自動車道⇒吉川JCT⇒中国自動車道⇒滝野社IC

【凡例】
● 京都府が準備する避難退域時検査場所候補地

UPZ圏から避難先施設までの主な経路（伊根町）

➤ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、予め複数の経路及び避難先を設定。

道の駅てんきてんき丹後

伊根町

府内避難時の主な経路

【西方向】

国道178号

【南方向】

国道178号⇒国道482号⇒国道312号⇒国道176号⇒京都縦貫自動車道⇒京丹波わちIC⇒国道27号⇒丹波IC⇒京都縦貫自動車道⇒大山崎JCT⇒京滋バイパス⇒久御山JCT⇒第二京阪道路⇒八幡IC⇒山手幹線⇒国道307号⇒田辺西IC⇒京奈和自動車道⇒精華下狛IC⇒府道22号

府内避難先（西方向）：

京丹後市

（丹後地域公民館、他3か所）

府外避難先：

稲美町

（総合福祉会館、他2か所）

播磨町

（播磨中央公民館、他4か所）

府内避難先（南方向）：

精華町

（精華町立体育館コミュニティセンター、他1か所）

府外避難時の主な経路

国道178号⇒国道482号⇒国道312号⇒国道176号⇒与謝野天橋立IC⇒宮津与謝道路⇒綾部JCT⇒舞鶴若狭自動車道⇒吉川JCT⇒中国自動車道⇒神戸三田IC⇒六甲北有料道路⇒神戸北IC⇒山陽自動車道⇒三木小野IC⇒国道175号⇒県道513号

【凡例】

● 京都府が準備する避難退域時検査場所候補地

- UPZ圏内で一時移転等の対象となる区域は、UPZ圏内全域ではなく、その一部に留まることが想定される。今回は、福井県におけるUPZ圏内全域が一時移転等を実施すると仮定した場合の輸送能力を確保する。
- 必要となる輸送能力は、想定対象人数約2,312人、必要車両数54台に対して、福井県内バス会社の保有車両数は882台と必要台数を確保。
- なお、県内の輸送手段では不足する場合、関西広域連合等関係機関が関西圏域の府県及び隣接府県等の関係団体から輸送手段を調達する(詳細については86頁参照)。

		合計	高浜町	おおい町	小浜市	若狭町	備考
対象人数 (想定)	UPZ圏内人口	46,238	2,778	8,677	30,763	4,020	H26.4.1現在
	バスによる一時移転等が必要となる住民	2,312	139	434	1,538	201	・UPZ圏内人口×0.05 ・住民の5%がバスによる一時移転等が必要となると想定 ^{※1}
必要車両台数		54	4	10	35	5	バス1台当り45人程度の乗車を想定



福井県内のバス会社保有車両	882	福井県内のバス会社から必要な輸送手段を調達
---------------	------------	-----------------------

関西圏域及び隣接府県保有台数	14,165	関西広域連合等関係機関が関係団体から輸送手段を調達
----------------	---------------	---------------------------

※1 福井県避難時間推計シミュレーションに基づく想定

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

- UPZ圏内で一時移転等の対象となる区域は、UPZ圏内全域ではなく、その一部に留まることが想定される。今回は、京都府におけるUPZ圏内全域が一時移転等を実施すると仮定した場合の輸送能力を確保する。
- 必要となる輸送能力は、想定対象人数約93,335人、必要車両数2,077台に対して、京都府内バス会社の保有車両数は2,261台と必要台数を確保。
- なお、府内の輸送手段では不足する場合、関西広域連合等関係機関が関西圏域の府県及び隣接府県等の関係団体から輸送手段を調達する(詳細については86頁参照)。

		合計	舞鶴市	福知山市	綾部市	宮津市	南丹市	京丹波町	伊根町	備考
対象人数 (想定)	UPZ圏内人口	124,444	86,326	525	9,041	19,654	4,024	3,334	1,540	H26.4.1現在
	バスによる一時移転等が必要となる住民	93,335	64,745	394	6,781	14,741	3,018	2,501	1,155	・UPZ圏内人口×0.75 ・住民の75%がバスによる一時移転等が必要となると想定 ^{※1}
必要車両台数		2,077	1,439	9	151	328	68	56	26	バス1台当り45人程度の乗車を想定



京都府内のバス会社保有車両	2,261	京都府内のバス会社から必要な輸送手段を調達
---------------	--------------	-----------------------

関西圏域及び隣接府県保有台数	14,165	関西広域連合等関係機関が関係団体から輸送手段を調達
----------------	---------------	---------------------------

※1 京都府避難時間推計シミュレーションに基づく想定

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

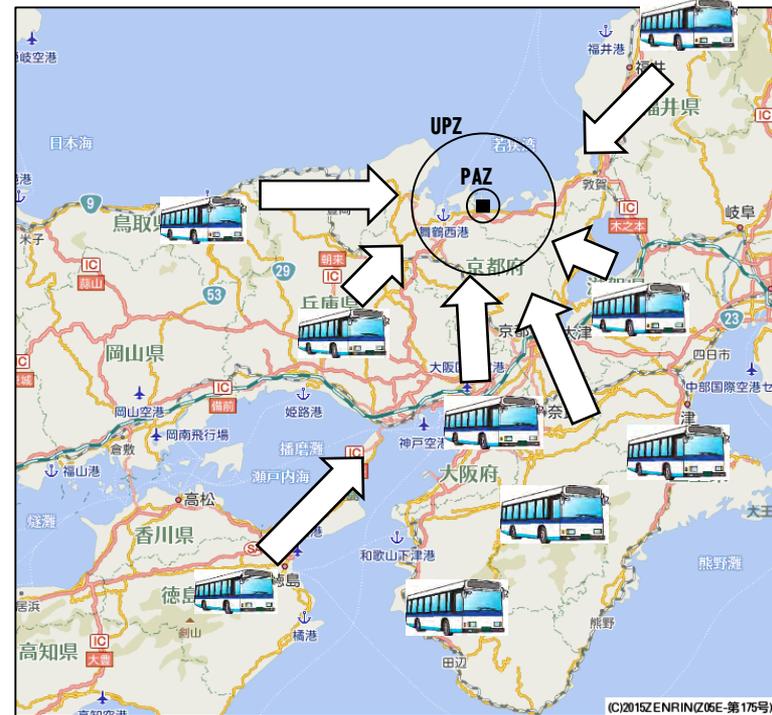
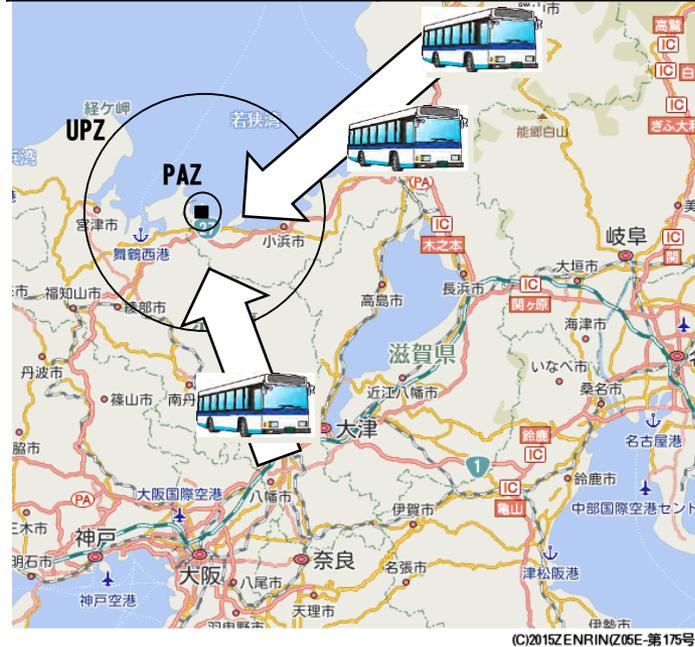
国、関係機関による輸送能力の確保

福井県及び京都府内の輸送手段では不足する場合の輸送能力の確保については、

- 両府県内の輸送手段では不足する場合、関西広域連合等関係機関が関西圏域の府県及び隣接府県等の関係団体から輸送手段を調達
- 上記手段により確保した輸送手段で対応できない場合、原子力災害対策本部からの依頼に基づき、国土交通省が関係団体、関係事業者に対し、協力を要請により必要な輸送能力を確保する。

福井県内のバス会社	保有台数 (台)
50社※1	882
京都府内のバス会社	保有台数 (台)
43社	2,261

各府県保有バス台数	
府県名	保有台数
石川県	1,229
三重県	1,230
滋賀県	1,000
大阪府	4,022
兵庫県	3,917
奈良県	1,006
和歌山県	706
鳥取県	540
徳島県	515
計	14,165



※1 関西電力を含む

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請